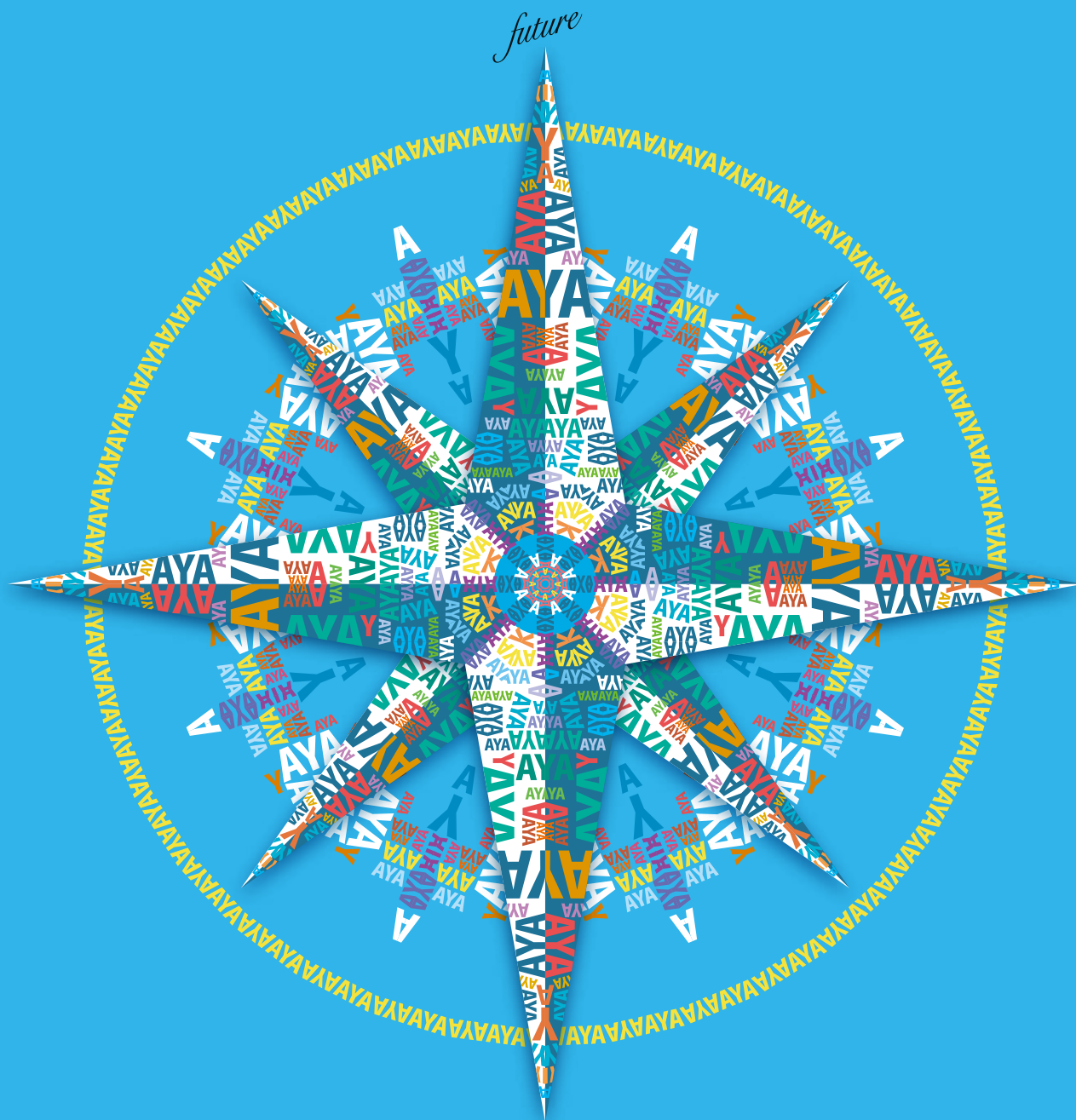


AYAがん患者のペイシェント・ジャーニーを支える



Adolescent and Young Adult
アドレセント & ヤング・アダルト

第4回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会

2022年 3月20日(日)・21日(祝) 19日(土) Online市民公開講座 等

会場 パシフィコ横浜 会議センター 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

大会長 天野慎介 一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長

副会長 鈴木 直 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学

渡邊知映 昭和大学保健医療学部

運営事務局 第4回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会 運営準備室

日本コンベンションサービス株式会社(JCS) 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル14階
TEL 03-3508-1214 FAX 03-3508-1302 E-mail ayaken-cong.4@convention.co.jp

www.aya-ken.jp

AYA
oncology alliance



第4回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会

2022年 3月20日(日)・21日(祝) 19日(土)Online市民公開講座 等

会 場 パシフィコ横浜 会議センター 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

会 長 天野慎介 一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長

副会長 鈴木 直 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 渡邊知映 昭和大学保健医療学部

HOME

大会長ご挨拶

開催概要

大会長ご挨拶

プログラム

演題採択情報

AYAがん患者・
家族プログラム

市民公開講座

参加費

演題募集



第4回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会

会 長 天野 慎介

一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長

2018年3月に閣議決定された国の第3期がん対策推進基本計画では、「がんは、小児及びAYA世代の病死の主な原因の1つであるが、多種多様ながん種を多く含むことや、成長発達の過程においても、乳幼児から小児期、活動性の高い思春期・若年成人世代といった特徴あるライフステージで発症することから、これらの世代のがんは、成人の希少がんとは異なる対策が求められる」とされ、国のがん対策における重要な政策テーマの1つとして、その対策が検討されてきました。

その対策の検討では、一般に15歳から39歳とされるAYA世代が「特徴あるライフステージ」にあることから、AYA世代のがん患者に特有な課題があることが指摘されてきました。また、AYA世代のがん患者ががんを発症し、治療を受け、治療を終えてから経過観察や社会復帰、あるいは再発や病状の進行、いわゆる終末期や看取りを経験するという一連の「ペイシェント・ジャーニー (Patient Journey)」を進んでいく中で、多様な課題に直面することが指摘されてきました。

例えば、思春期世代の5年生存率については、その改善率が他の世代と比較して低いことが指摘されており、そのがんの中にはいわゆる希少がんが含まれています。療養環境については、同世代のがん患者が少ないことから、その交流や情報交換の場が必要とされています。学業や就職、恋愛や結婚、出産といったライフイベントを経験する世代でがん治療を受けることにより、人生の成長段階に大きな影響を受けています。晩期障害に対する理解の不足や、介護保険を使うことができない中での在宅医療も大きな問題です。

このように、AYA世代のがん患者に特有かつ多様な課題があることは、今までも数多くの指摘がなされてきました。しかし、それを乗り越えるための議論は、未だ多くはありません。一つ一つの課題を乗り越えることは容易ではありませんが、国内でAYAがん患者の医療と支援のあり方に関心をもつ医療者と支援者が集う学術集会であるからこそ、その議論を試みたいと考えます。

また、今回の学術集会は大会長である私が医療者ではなく、AYA世代でがんを経験した当事者である、ということも新しい試みです。AYAがんの医療と支援のあり方研究会 (AYA研) は設立当初より、医療者と当事者の協働を1つの理念としてきましたが、学術集会に当事者の率直な視点を取り入れていきたいと考えます。

私が27歳でがんを発症した20年前、これから自身が経験するであろう「ペイシェント・ジャーニー」を考えると、その羅針盤は全く無く、自分がこれからどこに進んでいくのか、大きな不安を抱えていました。今回の学術集会を通じて、一人でも多くのAYA世代のがん患者に羅針盤を提供し、

「AYA世代がん患者のペイシェント・ジャーニーを支える」場としていきたいと思います。皆さまのご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



運営事務局

第4回 AYAがんの医療と支援のあり方
研究会学術集会 運営準備室
日本コンベンションサービス株式会社
〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル14階
TEL : 03-3508-1214
FAX : 03-3508-1302
E-mail :
ayaken-cong.4@convention.co.jp

第4回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会

2022年 3月20日(日)・21日(祝) 19日(土)Online市民公開講座 等

会 場 パシフィコ横浜 会議センター 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

会 長 天野慎介 一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長

副会長 鈴木 直 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 渡邊知映 昭和大学保健医療学部

HOME

AYAがん患者・家族プログラム

開催概要

大会長ご挨拶

プログラム

演題採択情報

AYAがん患者・
家族プログラム

市民公開講座

参加費

演題募集

第4回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会 「AYAがん患者・家族プログラム」「トラベルグラント」の募集について

「AYAがん患者・家族プログラム」の開催要項

開催日 2022年3月20日(日)・21日(祝) (19日(土) Online開催検討)

会場 パシフィコ横浜 会議センター

▶ 現地参加とWEB参加両方に対応するハイブリッドでの開催です。現地参加かWEB参加か、どちらかをお選びください。

▶ 今後の感染状況によっては、開催方法が変更となる場合もあります。

会長 天野慎介 (一般社団法人全国がん患者団体連合会理事長)

副会長 鈴木直 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学) 渡邊知映 (昭和大学保健医療学部)

「AYAがん患者・家族プログラム」の開催目的

「AYAがん患者・家族プログラム」は、応募基準に記載した条件を満たすがん患者と家族の方々に対して、第4回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会参加費を優待することにより、がん患者と家族の方々が思春期・若年成人 (AYA) がんの医療と支援に関する情報と課題について学び、学会員とともに考える場を提供することを目的として提供されるプログラムです。

「AYAがん患者・家族プログラム」の開催概要

- ・応募基準に記載した条件を満たした方は、第4回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会「AYAがん患者・家族プログラム」に参加費1,000円で参加いただけます。ただし、「AYAがん患者・家族プログラム」には事前お申込みが必要です。
- ・「AYAがん患者・家族プログラム」参加者は、学術集会本会で開催されるプログラムの聴講が可能です。
- ・「AYAがん患者・家族プログラム」参加者のうち、「トラベルグラント」(交通費・宿泊費の助成)の応募基準に記載した条件を満たした方は「トラベルグラント」にお申し込みいただけます。ただし、「トラベルグラント」には事前お申込みが必要で、選考があります。
- ・「トラベルグラント」の選考は、AYAがんの医療と支援のあり方研究会の理事長と副理事長、および第4回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会の会長と副会長から構成される選考委員会によって行われます。

「AYAがん患者・家族プログラム」の応募基準

- ・39歳までにがんを発症し、かつ現在18歳以上である患者、またはその家族(現在18歳以上)であること
- ・学術集会終了後の所定の期限までに、「参加レポート」(400字以上600字以内)を提出すること



- ・医療機関、ヘルスケア関係企業、メディア、広告代理店に勤務し主たる収入を得ていないこと
- ・オンラインに自分自身で接続し、受信できる環境を整えられること
- ・参加にあたって事務局やセッションの座長の指示に従い、進行を妨げるような言動をしないこと
- ・会場でのスライド撮影、オンラインでのスクリーンショット、動画収録、音声録音をしないこと
- ・学術集会で学会正会員を対象に開催される「総会」には入場しないこと
- ・特定の医療機関、医師を推奨、あるいは助成を受けていないこと
- ・承認、未承認にかかわらず、特定の治療法を支持、推奨していないこと
- ・特定の健康食品、健康器具等を推奨、販売していないこと
- ・特定の政治団体、宗教等を推奨していないこと
- ・反社会勢力との関わりがないこと

(※) AYAがんの医療と支援のあり方研究会の正会員または準会員であっても応募できます。

(※) 上記応募基準をお守りいただけない場合は、お申込み後であっても参加取り消しとなる場合や、次年度以降の「AYAがん患者・家族プログラム」をお断りする場合があります。

「トラベルグラント」の応募基準

- ・39歳までにがんを発症し、かつ現在18歳以上の患者であること
- ・「AYAがん患者・家族プログラム」の応募基準を満たしていること
- ・学術集会の会期である2022年3月20日（日）21日（祝）の2日間、学術集会に全日現地参加ができること（各日、参加確認をさせていただきます）
- ・お申込み時に「参加動機」（400字以上600字以内）を記入するとともに、学術集会終了後の所定の期限までに、「参加レポート」（400字以上600字以内）を提出すること

(※) AYAがんの医療と支援のあり方研究会の正会員または準会員であっても応募できます。

(※) 選考にあたっては、AYAがんの医療と支援のあり方研究会の正会員または準会員が優先されます。正会員または準会員へのご入会については[こちら](#) をご参照ください。

(※) 上記応募基準をお守りいただけない場合は、選考後であっても「トラベルグラント」の参加取り消しや、助成金の返還を求める場合があります。

注意事項

- ・「AYAがん患者・家族プログラム」は、自身や家族のがん治療のために特定の内容を学ぶことや、医療者に助言やセカンドオピニオンを求めることを目的としてはいません。自身や家族の治療に関して、医師やその他の医療従事者への質問や相談をすることは禁止です。
- ・WEBでの参加の場合、インターネットが利用できる環境をご自身でご準備ください。Zoomなどに関する技術的なサポートは一切いたしません。
- ・学術集会事務局からの指示に従わない場合や、学術集会での迷惑行為・暴力行為を行った場合には、選考後であっても参加取り消しとなる場合や、次年度以降の「AYAがん患者・家族プログラム」「トラベルグラント」への参加をお断りする場合があります。

応募方法

- ・申込フォームから必要事項をご入力の上お申し込みください。
- ・ayaken-cong.4@convention.co.jp からの電子メールが受信できる設定をお願いします。
- ・「AYAがん患者・家族プログラム」の定員はありません。
- ・「AYAがん患者・家族プログラム」の応募は2022年2月28日（月曜日）締切です。事前お申込みが必要です。
- ・「トラベルグラント」の定員は20名です。
- ・「トラベルグラント」の応募は2022年1月11日（火曜日）締切です。事前お申込みが必要で、選考があります。

「トラベルグラント」の助成

- 参加者のご自宅の地域に応じて、下記の金額を定額で支給いたします。交通・宿泊料金の金額が不足する場合は、ご自身にてご負担ください。
- 往復の交通・宿泊はご自身で手配いただきます。
- 助成金のお支払いは、会期終了後の「参加レポート」（400字以上600字以内）提出を確認してからとなります。
- 新型コロナウイルス感染症の状況や、その他やむを得ない事情により、第4回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会の現地開催が無くなった場合には、「トラベルグラント」は中止となる場合があります。
- 「トラベルグラント」が中止となった場合や、参加者のご都合により現地参加ができなくなった場合でも、交通・宿泊予約のキャンセル料金は一切負担出来かねますので、予めご了承ください。



運営事務局

第4回 AYAがんの医療と支援のあり方
研究会学術集会 運営準備室
日本コンベンションサービス株式会社
〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル14階
TEL : 03-3508-1214
FAX : 03-3508-1302
E-mail :
ayaken-cong.4@convention.co.jp

北海道（北海道） 45,000円

東北（青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島） 50,000円

関東（茨城・栃木・群馬） 35,000円

首都圏（埼玉・千葉） 15,000円

首都圏（東京・神奈川） 9,000円

甲信越（新潟・富山・石川・福井・山梨・長野） 47,000円

東海（静岡・愛知・岐阜・三重） 45,000円

近畿（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山） 53,000円

中四国（岡山・広島・山口・島根・鳥取・愛媛・徳島・高知・香川） 47,000円

九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄） 48,000円



対がん協会報

1部70円(税抜き)

第705号

2021年(令和3年)
9月1日(毎月1日発行)

公益財団法人 日本対がん協会 「日本対がん協会」と「対がん協会」は登録商標です

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビルディング9階
☎ 03-3541-4771 FAX 03-3541-4783 <https://www.jcancer.jp/>

主な 内容	1～4面	朝日がん大賞・日本対がん協会賞
	5面	RFLセルフウォークリレー2021開催
	6面	「がん検診実施のための指針」改正案

2021年度 朝日がん大賞

日本対がん協会賞は4氏1団体へ

天野慎介 グループ・ネクサス・ジャパン理事長

「長年にわたるがん患者支援活動と患者代表としての意見発信」

日本対がん協会は9月1日付で、2021年度の朝日がん大賞と日本対がん協会賞の受賞者を発表した。朝日がん大賞には、一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン理事長の天野慎介氏(47)が選ばれた。日本対がん協会賞は個人の部で4氏、団体の部で1団体が選ばれた。がん征圧月間の9月8日に宮崎市で開かれるがん征圧全国大会で表彰される。＝2～4面に関連記事

朝日がん大賞に選ばれた天野氏は、27歳のときに血液がんの悪性リンパ腫と診断され、薬物療法、放射線療法、自家末梢血幹細胞移植、再発を経験。自らの経験をもとに、がん患者の相談支援活動に約20年携わってきた。天野氏が理事長を務めるグループ・ネクサス・ジャパンは悪性リンパ腫の患者や家族に適切な医療情報や交流の場を提供するとともに、患者・家族の医療環境向上のための調査研究や政策提言などを目的とする全国患者団体。2001年の設立後、間もなく天野氏も参加した。その後、団体は2006年にNPO法人化、2013年に一般社団法人化されている。現在、会員は全国に約1500人。また、患者代表として、2009年から厚生労働省がん対策推進協議会の委員と会長代理を2期4年務め、国のがん対策推進基本計画の策定にも関わってきた。こうした活動のかたわら、2015年には、がんの種類や地域を問わず、がん患者全体に共通した課題を解決するため、各地の団体と連携し、一般社団法人全国がん患者団体連合会を設立。現在、理事長を務めている。

日本対がん協会賞の個人の部に選ばれたのは、京都岡本記念病院乳腺外科主任部長の蔭山典男氏(70)、群馬県衛生環境研究所長の猿木信裕氏(65)、日本消化器がん検診学会理事長の渋谷大助氏(67)、秋田県総合保健事業団理事長の戸堀文雄氏(68)の4氏。それぞれの地域でのがん予防やがん検診推進、検診精度の向上などに尽力したことに加え、国内での先駆的な業績も高く評価された。

団体の部では、ケムラン～屋内完全禁煙の飲食店を応援する会～が選ばれた。市民ボランティアが居住地域や旅行先で訪れた完全禁煙に取り組む飲食店を調査し、インターネット上の公式サイトに登録・公開している。がん予防の一つである受動喫煙対策で、市民参加型の新しい取り組みとして評価された。

「朝日がん大賞」は日本対がん協会賞の特別賞として、朝日新聞社の協力で2001年に創設され、今年で21回目。「がん予防」全般を対象に、がん征圧に向けて優れた実績をあげて社会に貢献し、かつ、第一線で活躍する個人・団体に贈られる。将来性のある研究の発掘、医療機器類の研究・開発、患者・治療者の活動やケアなどの分野も対象となる。

「日本対がん協会賞」は協会設立10周年の1968年、がん征圧運動の一層の高揚を図る目的で創設され、54回目。対がん活動に顕著な功績のあった個人と団体に贈られる。

選考委員は次の通り。垣添忠生・日本対がん協会会長(委員長)、武藤徹一郎・がん研有明病院メディカルディレクター・名誉院長(副委員長)、中川俊男・日本医師会会長、大内憲明・東北大学大学院医学系研究科客員教授・東北大学名誉教授、津金昌一郎・医薬基盤・健康・栄養研究所理事兼国立健康・栄養研究所長、西山公隆・朝日新聞社科学医療部長、梅田正行・日本対がん協会理事長。

2021年度の朝日がん大賞・日本対がん協会賞の受賞者のみなさん

◇朝日がん大賞◇

天野 慎介 (あまの・しんすけ) 47歳
一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長

◇日本対がん協会賞◇

個人の部

蔭山 典男 (かげやま・のりお) 70歳
社会医療法人岡本病院(財団)
京都岡本記念病院 乳腺外科 主任部長

猿木 信裕 (さるき・のぶひろ) 65歳
群馬県衛生環境研究所長

渋谷 大助 (しぶや・だいすけ) 67歳
一般社団法人 日本消化器がん検診学会 理事長

戸堀 文雄 (とぼり・ふみお) 68歳
公益財団法人 秋田県総合保健事業団 理事長

団体の部

ケムラン～屋内完全禁煙の飲食店を応援する会～
(管理人：伊藤ゆり)

※敬称略、年齢は9月1日現在

朝日がん大賞

自身の体験
が原点がんになっても
安心して暮らせる社会に

朝日がん大賞受賞の天野氏

患者の立場として初めて朝日がん大賞に選ばれた天野慎介氏の活動は、21年前、血液のがんである悪性リンパ腫の患者・家族を支援する一般社団法人「グループ・ネクサス・ジャパン」への参加から始まった。現在、患者・家族に対する適切な医療情報や交流の場の提供、医療環境を向上させるための調査研究や政策提言などに取り組む。

患者とつながる活動

27歳だった2000年、悪性リンパ腫の診断を受けた。5年生存率は現在ほど高くなく、「治療しても厳しい」と言われた。同世代の患者は、治る人もいれば、亡くなる人もいた。悪性リンパ腫に関する情報は乏しく、身近な患者団体もない。「とにかく孤独でした」。そんな中、インターネットのホームページに自身の闘病生活をつづった。がんをオープンにすること自体はばかられた時代。書籍はあったが、ネットで公開する人はいなかった。

ネットでの発信がきっかけとなり、設立間もない「グループ・ネクサス」(当時は任意団体)のメンバーから集会に誘われた。当日、会場に多くの患者が集まったことに驚くとともに、つながることの大切さを実感した。その思いが活動の背景にある。

現在は会員1500人、全国10支部。若年層から中高年まで会員の年代は幅広い。ネットにアクセスできない高齢者には紙ベースで情報を提供する。オンラインの交流会・講演も開き、活動の輪は広がっている。

最近、電話相談窓口で感じるこ

は、コロナ禍による孤立だ。以前なら外出もできたが、コロナ禍では自宅にこもりがち。オンライン交流会では、以前は参加できなかった入院患者や体調不良で自宅で寝ている人も参加できるようになった。だが、ネットを使えない高齢者は孤独感を深めている。そうした人たちとどうつながり、支えるかが課題だという。

患者支える社会に

2006年のがん対策基本法成立で、国のがん対策推進基本計画を検討する厚生労働省のがん対策推進協議会の委員に「がん患者及びその家族または遺族を代表する者」が明記された。協議会の委員・会長代理に就いた2009年、新聞記者から言われたことがある。「たくさんさんの患者が声を上げ続けてきた結果、あなたはこの場にいる。患者の声を反映させることがあなたの使命だ」

今回の大賞受賞に、天野氏は「多くのがん患者の声が日本のがん対策を動かしてきた。私個人も多くの人に支えられてきた。たまたま今回は私が受けただけ」と話した。

20年前に比べて医療技術は進み、5年生存率は向上した。がんとともに生きる時代になりつつある。インターネットは進化し、SNSやオンライン会議システムなど人と人をつなぐツールも増えた。ただ、不安を抱える患者を支えていく社会づくりは道半ばだ。就労支援など、がん患者に共通の課題を解決しようと、全国のがん患者団体呼びかけ、2015年に全国がん患者団体連合会を設立した。現在、加盟は



天野慎介 (あまの・しんすけ)

1973年東京都で生まれた後、高校卒業まで大阪府で暮らす。慶應義塾大学商学部卒。

2000年に悪性リンパ腫を発症。2度の再発を経験し、化学療法、放射線療法、自家末梢血幹細胞移植などを受ける。自身の経験をもとにがん患者支援活動に関わるようになり、2009年から厚生労働省がん対策推進協議会の委員と会長代理を2期4年務めた。

2015年には全国のがん患者団体に呼びかけ、一般社団法人「全国がん患者団体連合会」を設立し、現在、理事長。厚生労働省の厚生科学審議会がん登録部会、厚生科学審議会科学技術部会全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会委員、先進医療技術審査部会などの委員も務めている。

約50団体になる。

会員のがん患者をはじめ、多くの関係者に対し、「20年前から比べて確実に社会はよくなっている。いま発症された方は厳しいお気持ちだろうが、がんになっても安心して暮らせる社会を一緒につくっていったら」と話している。

臨床研究中核病院及び特定機能病院に係る 患者申出療養相談窓口設置状況一覧表

患者申出療養相談窓口設置病院一覧（79病院）

都道府県	病院名	相談窓口名称	相談窓口電話番号
北海道	北海道大学病院	医事課診療報酬管理係	011-706-7969 
北海道	旭川医科大学病院	臨床研究支援センター 医療支援課	1.0166-68-2883 2.0166-69-3012
岩手県	岩手医科大学附属病院	地域医療連携センター	019-651-5111（内線2392）
宮城県	東北大学病院	1.地域医療連携課 2.臨床研究推進センター 臨床研究実施部門	1.022-717-7131 2.022-717-8654
秋田県	秋田大学医学部附属病院	患者申出療養相談窓口	018-884-6283 
山形県	山形大学医学部附属病院	患者申出療養窓口	023-628-5840 
福島県	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	臨床研究センター	024-547-1773 
茨城県	筑波大学附属病院	臨床試験外来	029-853-3545 
栃木県	自治医科大学附属病院	経営管理課	0285-58-7103
栃木県	獨協医科大学病院	医事保険課	0282-87-2269
埼玉県	埼玉医科大学病院	臨床研究センター内 患者申出療養制度相談窓口	049-276-1354 

都道府県	病院名	相談窓口名称	相談窓口電話番号
千葉県	千葉大学医学部附属病院	患者相談窓口	043-222-7171（代表）
千葉県	国立がん研究センター東病院	1.臨床研究支援部門臨床研究支援室 患者申出療養担当 2.サポーターズケアセンター/がん相談支援センター	04-7133-1111（代表）
東京都	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院	相談支援センター	03-3547-5293
東京都	順天堂大学医学部附属順天堂医院	臨床試験患者相談窓口	03-5689-2792
東京都	日本医科大学附属病院	患者相談窓口	03-3822-2131（代表）
東京都	日本大学医学部附属板橋病院	総合案内窓口	03-3972-8111（代表）
東京都	東邦大学医療センター大森病院	患者申出療養対応窓口	03-3762-4151（内線3191）
東京都	東京慈恵会医科大学附属病院	治験センター	03-3433-1111（代表）
東京都	慶應義塾大学病院	患者総合相談部総合相談窓口	03-5363-3638
東京都	昭和大学病院	総合相談センター	03-3784-8775
東京都	杏林大学医学部付属病院	患者支援センター	0422-47-5511（代表）
東京都	帝京大学医学部附属病院	患者相談室	03-3964-1211（代表） 内線32160
東京都	東京医科歯科大学医学部附属病院	患者申出療養相談窓口	03-5803-4506

都道府県	病院名	相談窓口名称	相談窓口電話番号
東京都	東京大学医学部附属病院	臨床試験相談窓口	03-5800-6538
東京都	東京医科大学病院	臨床研究支援センター	03-3342-6111 (内線3820)
東京都	公益財団法人がん研究会有明病院	患者相談窓口	03-3520-0111
東京都	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院	総合医療相談 (外来運営・相談支援受付)	03-3202-7181 (代表)
神奈川県	北里大学病院	トータルサポートセンター・がん相談支援センター	042-778-8438 
神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院	メディカルサポートセンター	044-977-8111 (代表)
神奈川県	東海大学医学部付属病院	総合相談室、治験・臨床管理部	0463-93-1121 (代表)
神奈川県	横浜市立大学附属病院	患者申出療養相談窓口 (医学・病院統括部 医事課内)	045-787-2800 (代表)
新潟県	新潟大学医歯学総合病院	臨床研究推進センター	025-227-0901 
富山県	国立大学法人 富山大学附属病院	臨床研究推進センター	076-434-7154 
石川県	金沢医科大学病院	医療福祉相談窓口 (患者申出療養に関する相談)	076-218-8347 
石川県	国立大学法人金沢大学附属病院	地域医療連携室・先進医療開発センター事務局	076-265-2039  (地域医療連携室)
福井県	福井大学医学部附属病院	よろず相談相談窓口「患者申出療養相談」	0776-61-3111 (代表)

都道府県	病院名	相談窓口名称	相談窓口電話番号
山梨県	山梨大学医学部附属病院	医療福祉支援センター	055-273-9872 
長野県	信州大学医学部附属病院	医療相談窓口	0263-37-3176
岐阜県	国立大学法人岐阜大学医学部付属病院	患者申出療養相談窓口	058-230-6032 
静岡県	浜松医科大学医学部附属病院	医療福祉支援センター	053-435-2772 
静岡県	静岡県立静岡がんセンター	よろず相談	055-989-5710 
愛知県	愛知医科大学病院	臨床研究支援センター、患者相談窓口、がん相談支援室	0561-62-3311
愛知県	藤田医科大学病院	患者相談窓口	0562-93-2111
愛知県	名古屋大学医学部附属病院	患者申出療養相談窓口	052-744-2829  (患者申出療養相談窓口専用)
愛知県	名古屋市立大学病院	医事課 患者申出療養相談	052-851-5511 (内線3499)
三重県	国立大学法人 三重大学医学部附属病院	7番 患者相談窓口	059-232-1111 (内線5161)
滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院	患者支援センター	077-548-2513 
京都府	京都大学医学部附属病院	1. 総合案内(臨床研究・治験等相談窓口) 2. 相談支援センター	1. 075-751-3047  2. 075-751-4748
京都府	京都府立医科大学附属病院	医療サービス課 医療相談担当	075-251-5234  075-251-5235 

都道府県	病院名	相談窓口名称	相談窓口電話番号
大阪府	国立循環器病研究センター	患者申出療養に係る対応窓口	06-6833-5012（内線2149）
大阪府	関西医科大学附属病院	患者相談窓口	072-804-2712 
大阪府	大阪医科大学附属病院	広域医療連携センター 患者総合相談室	072-683-1221（代表）
大阪府	大阪大学医学部附属病院	治験コーナー・臨床研究相談窓口	06-6879-6106
大阪府	大阪市立大学医学部附属病院	患者申出療養相談	06-6645-2121
大阪府	大阪国際がんセンター	相談支援センター	06-6945-1181
兵庫県	兵庫医科大学病院	医療支援センター	0798-45-6711
兵庫県	神戸大学医学部附属病院	患者支援センター総合相談窓口	078-382-5111（代表）
奈良県	奈良県立医科大学附属病院	医療サービス課	0744-22-3051（内線3204）
和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院	患者申出療養相談窓口	073-447-2300  （内線3293・3294）
鳥取県	鳥取大学医学部附属病院	患者申出療養制度相談窓口	0859-38-8381
島根県	島根大学医学部附属病院	医療サービス課	0853-20-2068
岡山県	川崎医科大学附属病院	患者申出療養相談窓口	086-464-1569 

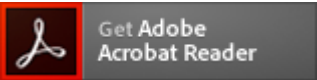
都道府県	病院名	相談窓口名称	相談窓口電話番号
岡山県	岡山大学病院	総合患者支援センター治験・臨床研究相談窓口、治験推進部、研究推進課	086-235-7693 
広島県	広島大学病院	患者支援センター	082-257-1972 
山口県	山口大学医学部附属病院	患者申出療養に係る相談窓口	0836-22-2074
徳島県	徳島大学病院	患者支援センター	088-633-9056  088-633-9107 
香川県	香川大学医学部附属病院	臨床研究支援センター	087-891-2345 
愛媛県	愛媛大学医学部附属病院	総合診療サポートセンター患者申出療養相談窓口	089-960-5261 
高知県	高知大学医学部附属病院	インフォメーション（ご案内）患者相談窓口、医事課診療請求係	088-880-2443  088-880-2526 
福岡県	福岡大学病院	医療相談窓口	092-801-1011 
福岡県	産業医科大学病院	患者申出療養相談窓口	093-691-7503 
福岡県	九州大学病院	ARO次世代医療センター患者さま窓口	092-642-5858 
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	調整中	0952-31-6511 （代）
長崎県	長崎大学病院	臨床研究センター	095-819-7256 
熊本県	熊本大学医学部付属病院	患者申出療養相談窓口	096-373-5557 
大分県	大分大学医学部付属病院	患者相談窓口	097-586-5410 

都道府県	病院名	相談窓口名称	相談窓口電話番号
宮崎県	宮崎大学医学部付属病院	地域医療連携センター	0985-85-1909
鹿児島県	鹿児島大学病院	臨床研究管理センター	099-275-6624 

患者申出療養相談窓口設置予定病院一覧（6病院）

都道府県	病院名	備考
北海道	札幌医科大学附属病院	検討中
青森県	弘前大学医学部附属病院	検討中
埼玉県	防衛医科大学校病院	検討中
大阪府	近畿大学医学部附属病院	検討中
福岡県	久留米大学病院	検討中
沖縄県	琉球大学医学部附属病院	検討中

※ 平成28年3月15日付け厚生労働省保険局医療課事務連絡「特定機能病院に係る対応窓口設置状況の報告について（依頼）」により報告されたものに基づく



[PDFファイルを見るためには、Adobe Readerというソフトが必要です。Adobe Readerは無料で配布されていますので、こちらからダウンロードしてください。](#)